

〔參考源平盛衰記 三十九〕重衛酒宴附于壽伊王事

以上南都異本○平家物語無、而云、其日モ暮シカバ、中將○平重衛ヲ持成カト見エテ、垂腹瓶子持テ參タリ、

清ゲナル家子侍、肴盃面々ニ持テ參、狩野介一段下リタル所ニ座席調テ畏、○中略雨中ノ御徒然何

カ苦シク候ベキナレバ、一瓶子懷テ參候、女房御酌ニ參給ヘト申ケリ、

〔古今著聞集 十入〕中御門左大臣家へ、大外記頼兼はつねにさんじけり、參たびごとに、かならず瓶

子一さかな物を、座のまへにをかれければ、まばし公事の物がたり申て、みづからかたぶけのみ

つ、ひねもすまこうしけり、

〔平家物語〕殿上のやみうち的事

忠盛○平又御前のめしにまはれけるに、人々拍子をかへて、いせへいじはすがみなりけりとぞは

やされける、○中略伊勢の國に、住國ふか、りしかば、其國の器によせて、いせへいじとぞはやされ

ける、其うへ忠盛のめのすがまれたりける故にこそ、かやうにははやされけるなれ、

〔源平盛衰記 四〕鹿谷酒宴靜憲止御幸事

引立引立置タル馬共驚テ、散々ニ蹕踊食合踏合シケレバ、舍人雜色馬ヲシヅメント、庭上上ヲ下

へ返テ狼藉也、酒宴ノ人々モ少々座ヲ立ケルニ、瓶子ヲ直垂ノ袖ニ懸テ頸ヲヅ打折テケル、大納

言○藤原成親見之戲呼事ノ始ニ、平氏倒侍リヌト被申タリ、面々咲壺會也、康頼○平突立テ、大方近代ア

マリニ平氏多シテ、持醉タルニ既ニ倒亡ヌ、倒タル平氏ノ頸ヲバ取ニ不如トテ、是ヲ差上テ一時

舞タリ、○又見平家物語

〔撮壤集 中〕家屋、家具類、筒

〔異制庭訓往來〕瓶子五百具、筒大小三百、相語名譽之庖丁人、所構種々料理也、

〔庭訓往來〕遠所之花者、乗物僮僕難合期、先近隣之名花、以歩行之儀、思立事候、○中略破籠小竹筒等者、

吸筒

瓶子雜載